

その時 議会は

その4

学校教育の 整備が急務

尋常小学校・高等小学校は、1886（明治19）年の小学校令により設置され、1941（昭和16）年の国民学校の設置により消滅しました。

大正に入ると、幸田村でも尋常小学校の増改築や敷地の拡張が、一斉におこなわれました。

当時の学校数は、豊坂尋常小学校を含む5校でした。（中央小学校を昭和55年に開校し、現在は6小学校となっています。）



昭和初期 幸田尋常高等小学校での剣道のけいこ



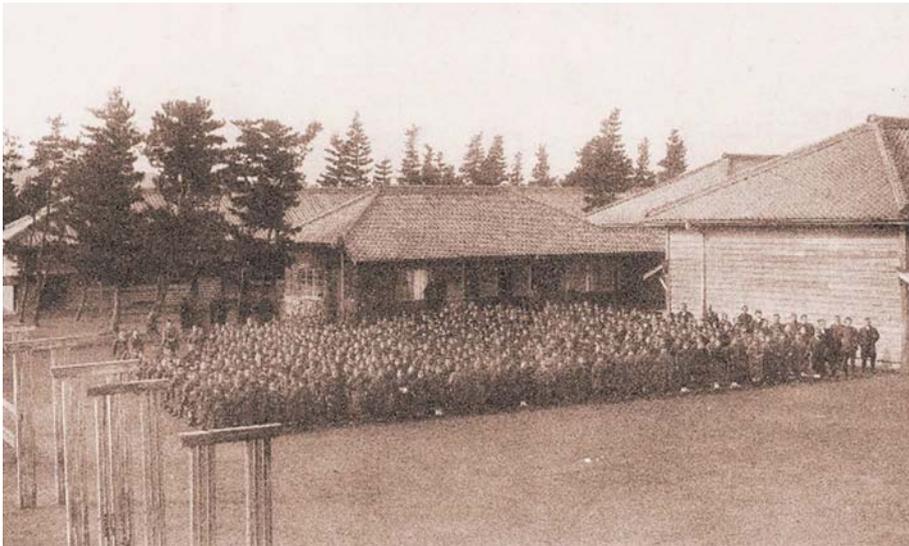
現在の幸田小学校

（特集記事の写真は、幸田小学校にご協力をいただきました。）

幸田100歳

次々に校舎を新築

ここでは、幸田尋常高等小学校にスポットをあててみました。幸田尋常高等小学校は、明治年間に順次増築、または古建物を購入して教室に改造したもので、とても不完全で狭いものでした。そこで1918(大正7)年に起債(借金)をし、敷地の拡張、校舎2棟とその付属校舎の新築を1924(大正13)年までにおこないました。



大正13年の幸田尋常小学校



昭和初期 家畜小屋の清掃管理

大正7年1月22日に提出された議案の建設費付記では、

増築校舎桁行40間梁間5間3尺、木造瓦葺平屋建、
建坪220坪、1坪49円10銭4厘、此工費金1万78
8円80銭

内訳

- ・普通教室 1室20坪 延べ坪数140坪
- ・通廊下 53坪5合
- ・生徒昇降口2か所 27坪5合
- ・便所 建坪12坪 此工事金396円60銭
- ・廊下校舎便所間の廊下幅1間長さ6間、6坪、坪15円、工費90円

その後、大正10年9月にも付属校舎の増築の議案がだされていきます。また、学校敷地は、大正12年、大正13年、昭和3年と用地買収をして拡大をはかっていきました。

(幸田町議会史より)